

日向神マルチクライミング講習会～二日目～

【報告者】A本ち

【日時】平成30年11月18日

【天候】曇り時々小雨

【参加者】K崎 (SL)、みっちー (CL)、I藤、K田、I井 (SL)、H田、F谷、
Dr、O原、A本ち

《コースタイム》

10:00 日向神駐車場近くで集合 - 10:30 出発 - 11:00 ハナタテ岩取り付き着 - 12:50 登りはじめ -
15:00 終了 - 16:30 全員終了・下山 - 17:00 解散

《報告》

なかなか山に行けない状態の私でしたが、今回リーダーのみっちーさんに誘って頂き、やっと重い腰が上がりました。2年ぶりのナマ岩でした。参加が決まった私はまず、ギア類を揃える作業を行いました。昔のデージーチェーン的なパスと呼ばれるギアと最新の確保器のお値段におののきながらも即購入。「命がかかるとる！」という絶対的な信念でのこの散財が、結構楽しいですね。そしてようやくピッカピカのクライマーが出来上がるのでした。

当日朝、泣きすぎる娘に「お母さん、死ぬかもしれんのやろ？」とか縁起でもないことを言われながら自宅を脱出。O原さんの車に乗せてもらい現地を目指しました。車内では野岳の課題の一手一手についての話で盛り上がりました。もう13~14年も前に登った課題なのに、覚えているものです。クライミングモチベーションをガッツシ上げて頂きました。日向神に降り立ち、前日からのメンバーに合流。皆さん、前夜の宴会の余波を漂わせつつも、ハーネスを装着した姿はやっぱりカッコ良い！よろしくお願いたします！

身支度をして、取り付きに向け出発。今回のハナタテ岩は初めての岩場でしたが、アプローチは渡渉込みの20分程度の道のりでした。そして私は渡渉中、しっかり左足ダイブ。いやー、あんなに苔付きの岩って滑りましたっけー。前に行くK田さんは難なくすんなり突破されてたのに…。悲しいかな、その後私の左靴はグズグズしっぱなしでした。そして何とか取り付きに到着。すると目指すルートに何パーティか取り付いており、下にもあと2パーティくらい待ちがおられる状態。混み混みです。待っている間に少しマルチの練習もかねて登ってみることに。名前の分からないルートにDrがリードで取り付き、F谷さんと私がフォローで登りました。下から見ると手がかりもあり、すんなり登れそうなスラブルートに思えたのですが、実際は今日一番の難しいポイントがありました。私は先に登るF谷さんのアドバイス通りに手足を動かすことで何とか突破。久しぶりの楽しいクライミングになりました。終了点のスタンスは3人でギリギリ。その終了点の上にもボルトが打ってあり、ロープも残置。マルチルートの開拓中という感じでした。DrとF谷さんがダブルロープでの懸垂下降準備をしておられる間、私は久しぶりの岩場からの風景を堪能。そんな時、蜂の羽音を大きくしたような“ブーン”という音が近づいて来ました。そう、これが噂に聞くO原さんのドローン飛行でした。まだ本来のルートに取り付いていない我々を探すように右往左往したあと、しっかり我々3人を見つけたドローン。照準を合わせるような動きは何だか近未来的で、映画のワンシーンのようでした。何か、カッコ良かー。つい、はしゃいで思いつき手を振ってしまいました。

練習登攀が終わった後もしばらく取り付き付近で待機。やっと先に取り付いていたパーティの方から

登って OK の声掛けがあり、登攀準備開始。I 井さんと F 谷さんのパーティは新装開店 (5.10a)、Dr と A 本ちは黄金週間の登りだし飛ばしエスケープルート (5.10a)。K 姉、みっちーさん、I 藤さん、K 田さん、H 田さんはカンテ上スラブルート (Ⅲ～Ⅳ級) に取り付きました。この日は時々小雨が降り、冷たい風が吹きすさぶ天候。岩場の風って寒いですよ。ビレイで動けない時は特に身に染みます。また、懸垂で降りてくる他のパーティの方を避けたり、待ったりしながらの登攀となりました。

さて、黄金週間 - 1 ピッチ目。Dr リード。核心の登りだしは飛ばしたものの、数メートル上の草付きからルートに移る 1 ピン目のクリップまでが厳しい。3m ほど右上するため、2～3 手なんですけど、スメアが危うい。Dr は「なんか、厳しいなー」とか言いながらも、すんなり突破。私はフォローでしたが、50 センチくらい上の何となくの足場に置いたスタンスからズルズルと滑り降り着地。いきなりのテンションでした。その後は 1 か所、悩むポイントがありましたが、その他はそれほど苦なく終了。

2 ピッチ目。A 本ちリード。思いっきり階段状。安全に終了。トポでは 1 ピッチ目の終了点がお隣の新装開店と同じだったのですが、この日は別になっていたのでルートを間違えたのかもしれませんが。

3 ピッチ目。Dr リード。大分傾斜が緩やかになっていましたが、手がかりの少ない岩場を 15m 程左上。最後の 2m 程度のやや難かしめのスラブを、左右の草付きを使わず登れるかーと、ワイワイ言いながら終了。太い立木が終了点。その後は隣の I 井さん F 谷さんパーティと一緒に懸垂下降して取り付き点に戻り終了しました。Dr、I 井さん、F 谷さん、お世話になりました。ありがとうございました。

K 姉達のレディースパーティも、登りだすまでの待機時間の長さを吹き飛ばす勢いで登攀し、颯爽とラッペルして降りて来られました。皆さん、お疲れ様でした。

最後に私の反省点。まずギアの扱いに慣れていない。①環付きカラビナの環を閉め忘れる。②懸垂下降の準備で自己ビレイを外す時に、つい懸垂のロープを手から離してしまう。③確保器の向きで戸惑う。④リードで登り始める時に自己ビレイを外し忘れて出発し、引き止められる、等々。特に①②は命にかかわる所、まさに「死ぬかもしれん」ポイントですので今後要注意です。Dr、I 井さん、F 谷さん、色々アドバイスをありがとうございました。もう一つの反省点は体力・筋力・瞬発力低下です。アプローチの行き帰りでの転倒の多さ。足腰の弱さが露呈してしまいましたねー。10 年以上前の身体能力と現在の能力との差を自分で判断出来ていないのでしょう。これも危険ですよ。これからは慎重に慎重に、徐々におばちゃんパワーを発揮できるよう力をつけていきたいと思います！今後もよろしくお願いたします。